

知らないと怖い塀に関するリスク

あなたの塀 こんな理由で**倒壊**するかも...

負傷者が出た場合は刑事告訴されることも

その塀本当に安全ですか？

塀の寿命はおよそ 30 年

法律による基準や改修方法はこちら



全国的に塀の事故が増えています

塀が倒壊する 3 パターン

1：経年劣化により倒壊

大谷石は吸水性が高いため危険性大

塀は雨風の影響で腐食が進みます。腐食は雨水が内側に浸透し、内部からも進行します。長年設置した塀は見えない部分もボロボロになっているかもしれません。

2：法律の基準に適合していないため倒壊

塀は法律により構造基準が定められています。

基準どおりに控え壁や鉄筋が入っていないものは非常に危険な状態です。

3：土や草木に押されて倒壊

塀の一部を擁壁としている場合は、擁壁の基準を満たしていないことが考えられます。

土砂を抑える仕組みではないため、内側から押されて崩壊する危険性があります。



事故を防ぐためには...

塀のリニューアル



アルミフェンスなどの軽量な塀に変更すると、転倒しても大きな事故につながりにくく安心です

補強工事



既存の塀を解体することが難しい場合、専用の補強金具があります。お近くの外構業者などに相談してみましょう

塀を低くする



塀の高さを低くすることも安全性が高まります。ブロック塀であれば3段以下の60センチ以内にすると安心です

条件に該当すると補助金が活用できることがあります
申請は工事業者との契約前に限ります



お問合せ先
日光市役所 建築住宅課 建築指導係
TEL: 0288-21-5197

日光市ブロック塀等撤去費補助金

検索